

## 第5回 八尾市交通基本計画検討市民委員の会議 議事録

- ・日時：平成18年2月24日（金）15:00～17:10
- ・場所：市役所本館8階 第2委員会室
- ・出席：20委員（代理出席1委員含む）  
（市民9名、学識経験者1名、関係機関4名、市の職員6名）

### 【議事次第】

1. 第4回会議議事録案の承認について
2. 目標実現に向けた基本的方向性・アクションプランへの意見反映について
3. 来年度以降の交通まちづくりへの取組みについて
4. その他

### 【議事概要】

#### 1. 第4回会議議事録案の承認について

委員により確認。公開手続きは事務局で行う。

#### 2. 目標実現に向けた基本的方向性・アクションプランへの意見反映について

・事務局より説明。

##### ○会長

・意見交換なしのため、事務局でとりまとめを行うこと。

#### 3. 来年度以降の交通まちづくりへの取組みについて

・事務局より説明。

##### ○会長

- ・来年度以降の「交通まちづくり」への取組みについて意見交換を行いたい。
- ・計画を策定するだけでなく、次年度以降実際に動き出していかなければならない。まず、何をしていくべきかということ、皆さんと議論をしていきたいと思う。また、委員の方々の方でも積極的に活動実施できることがあるようでしたら、この機会にご紹介いただきたい。
- ・「交通まちづくり懇談会」の立上げが次年度取組の柱になるかと思われる。
- ・行政における計画策定では、計画の見直しも10年後、あるいは5年後といったスパンでの意見聴取となるために、市民の皆さんに伝わりづらいことが多い。
- ・行政サイドとしては、委員会という銘打ってしまうと、仰々しくなり、議題がないと市民の方々に呼びかけができないという話になってしまう。しかし、本計画においては、計画を見直すという大きなきっかけだけでなく、年に何回かは定期的に集まりましょうと

というような「ざっくばらんな意見交換の場」を持った方がよいと事務局の方との打ち合わせの中で提案させていただいた。

- ・ 本会議は市民委員限定の参加であるが、懇談会においては参加自由で、参加者の方が周りの方に呼びかけ、また、別の方を連れてきていただけるような広がりが出ていくとより活発化するのではないかと思う。
- ・ 来年度は、皆さんと一緒に次の段階をどうするのかということをもう少し時間をかけて考えたいというのが、事務局の思いである。
- ・ 来年度は、具体的な活動の実践に向けた予算化はしていない。具体的な事業を実際に行うということではなくて、まずは**18**年度に行政と市民の協働のあり方について、皆さんともう少し時間をかけて話し合っていきたい、そして元気な方(キーパーソン)、元気な地域(モデル地区)と平成**19**年度以降、実際に取組を実施していきたいという思いである。
- ・ もう1つの柱は講座を開いたりあるいは飛び込み講座(この前は押しかけと言ったが)、行政側として講座を開催して聞きに来てくれるのを待っているのではなく、今まであまり交通のことを考えることのなかったところにも出かけて行って、「交通まちづくり」について一緒に考えさせていただくような取組を重点的にやりたいという思いである。

## ○委員

- ・ すばらしいアクションプランだと思う。要は、これをどのように推進するかが1番大事なことである。次年度の取組みについて、**7**つを具体的に上げていただいているが、この中でも特に「市民キーパーソンの発掘」ということが重要であると感じる。
- ・ もう1つはアクションプランの実行部隊の中で、八尾市側の調整役となる「交通対策課」が非常に重要な役割を担っていると思われる。交通対策課が本気にならなければ、アクションプランは動かないと思う。庁内調整に限らず、市民への協働参画呼びかけについても、初動期において交通対策課がいかにリードしていくかが重要である。
- ・ 従来の「まちづくりラウンドテーブル」というのは、既存組織(医師会とか福祉委員会とか民生委員等)を含め、様々な方が参加しておられる。その方々は地域でかなり重要な信頼を担っている貴重な人材がいらっしゃると思う。「市民キーパーソンの発掘」においては、ゼロから掘り起こしてだけでなく、既存組織で既に活動されている市民の方々もうまく巻き込んでいく必要がある。うまく呼びかけを行わなければ、新旧組織の対立構造が生まれる可能性がある。

## ○会長

- ・ 具体的な運営についての留意点をいくつかお話いただいた。事務局の方もそのあたりは充分気をつけて実行していただきたいと思う。

- ・ 早速次回以降、どういう形で集まっていたかというのを事務局の方で考えて、来年度1回目は広く呼びかけていただきたいと思う。
- ・ 委員からご指摘があったように、今までしっかりと活動されてきた既存組織として、自治振興委員会からも、また商工会議所からも委員がこの会議には参画していただいている。今後もいろんな立場の方々の参画を得ながら、この計画を進めていきたいと思う。
- ・ また改めて呼びかけさせていただく機会があるかと思う。ぜひともこの貴重なつながりをずっと継続させていただきたい。そうすれば先程委員がご指摘されるような新旧体制が別々に動くのではなく、連携をとりながら動くことが可能となると思うので、その辺りも念を押してよろしく願いたい。

### ○委員

- ・ 交通対策課としてはどのようなご意見なのか。非常に重要なポイントであると思うので、ご意見を是非伺いたい。

### ○委員

- ・ 資料作成段階において、交通対策課として何ができるかということを議論してきた。従来は市民からの要望を受け入れる形で様々な問題に対処してきたところであるが、本計画の推進にあたっては積極的に我々が市民の皆さんに呼びかけていくような形で、できることはないかということで「交通まちづくり講座」を我々の方から出前講座という形で開催したいと考えている。

### ○委員

- ・ もう少し具体的な形で、次年度の取組を実施していく上で、誰がどういう形で動くのか。といったことを伺いたい。予算化もされていないという中で、何もできないのではないかという懸念が実際問題としてある。
- ・ 奈良県では**160**の事業を職員が予算ゼロで何とか実施しようという動きあるという新聞記事を読んだ。こういう厳しい時代であるので予算化されているから実施するのではなくて、実際市民のためにどんなことができるのかということを、行政の方で一生懸命真剣に考えてもらわなければいけない時代であると思う。行政と市民相互の真剣さが見えれば、協働の取組みも何とか実現するのではないかと思う。
- ・ 協働・参画と言葉だけが先行し、お互いに「やってくれ、やってくれ」では、いつまでたっても動かないと思う。やはり行政の方がまちづくりのプロである以上、まずは率先垂範、行政側から協働・参画のまちづくりにおける意識を変えていただかないと市民の意識も変わらない。

## ○会長

- ・ 交通とは論点が少しずれるが、一昨日大分県の安心院(あじむ)町に視察に行かせていただいた。ここでは、「農村民宿」ということで、農家に泊まれるようになっている。登録されている農家が、現在**16**軒で、来年には**10**軒くらい増えて**30**軒弱になるが、その農家に連絡を取って、1泊ないし2泊、1泊 **4500** 円で宿泊が可能である。そうすると農家の方も他地域の方と触れ合うことで元気になってくるし、都会の方も農家の方々の温かさに触れて癒されるというような、とてもいい関係が構築されている。帰るときは「あなたも親戚になったのですから、またぶらっと来てくださいね。」という形で送り出してくれるという、非常に面白い試みをやっている。
- ・ 視察前の情報収集では、住民が主体的に動いているという情報であり、実際に住民主体の取組であったが、色々と話を聞いてみると安心院町長、町職員もかなり積極的に動いているという話であった。具体的には、町長さんが肩書きをはずして、その住民の集まりに顔を出しており、「私も町民のひとりなんだから、ここではざっくばらんに話をさせて欲しい」という形で、一緒になって取組んでおられた。
- ・ 恐らく委員ご指摘の話とかかわるものだと思う。9時から **17** 時の肩書きだけで、「交通まちづくり」に関わるのではなくて、1人の市民として一緒にやりながら、進むこともできる。そのあたりのことも参考にさせていただいてやっていただければと思う。
- ・ 本会議には、府からの委員にもご出席いただいているが、大阪府もいろいろモデル事業をやりたいと思ってるので、できたら大阪府のモデル事業と連携させていただければ、八尾市の負担は軽減しつつ、事業実施も可能になると思う。

## ○委員

- ・ モデル事業といっても、大阪府もお金がないのは間違いないが、ないなりに土木事務所含めて土木の人間が元気にやらないと大阪府庁も元気にならないという考え方のもとに、例えば、駅前にとにかく花を植えようみたいな取組みが進められたりしている。花の種は府営公園で取れたものを持ってきて、住民の皆さんと一緒に花を植えて綺麗にしようとする草の根的な動きがある。
- ・ それ以外にも、今まさに地区の交通を歩行者優先の府民にとって安全で歩きやすい快適なまちにするため、地域で考えるモデル地区として「くらしの道ゾーン」という制度がある。実は国土交通省がそういうゾーンを指定して、社会実験(車の交通量調査など)を実施する際に助成を出してもらうシステムである。これは府のお金はぜんぜん入っていないが、府が仲介して手を上げて地域の人に主体的に活動していただく試みである(岸和田市、泉大津市、豊中市曾根など)。
- ・ 1番大切なのは、その地域でどんな問題があるんだろうと、みんなで話し合いながらやっていこうというような動きがあれば、私どもとしても協力させていただきやすい。国の方にもそういった制度を推進していただけるよう働きかけている。

## ○会長

- ・ 今後も、情報提供とか情報交換が非常に重要だと思っている。そのためにも、ざっくばらんな意見交換の場を開かせていただければと思っている。私は岸和田市もお手伝いさせていただいているが、去年も 11 月に歩行者天国化によるオープンカフェを実施した。盛況であり、備品(椅子、机、パラソルなど)を購入していることもあり、来年度以降もやることになるだろう。
- ・ それが、1週間とか1ヶ月の実験的取り組みから、実験結果を踏まえて、周辺の交通が困らないための条件整理などを行い、歩行者天国の本格実施につないでいくことが、実験の目的でもある。交通問題解決にむけた社会実験の実施については、皆さんと知恵を絞って行きたいと思っているので、よろしく願いしたい。
- ・ 他に何かご要望、ご質問、ご意見はあるか。「ちゃりんこバスターズ」の活動を3月 11 日に実施されるというお話をお聞きしたが、委員の方から活動内容についてご紹介いただけないか。

## ○委員

- ・ 「ちゃりんこバスターズ」というのは、もともと障害福祉課からの動きであった。ワーキングメンバーが集まって、「ちゃりんこバスターズ」というものを10数名で立ち上げた。
- ・ 実際の活動実施は、私たちメンバーが声をかけた障害者、またはそれにかかわる人たちに加えて、交通対策課の協力、八尾警察の協力をいただいた。
- ・ 今年度の事業であるが、キャンペーンだけでなく、八尾市内の小、中、高校へ訪問し、ちらしとボールペンの配布行っている。配布するだけではなくて、学校に来て、朝礼で5分でも 10 分でも良いので話して欲しいという学校が、4分の1程度ある。それにもできるだけ出させてもらうという形でやっている。
- ・ やはり啓発活動というのは、地道な継続が必要であると感じ、ずっとやらせてもらっている。3月 11 日に今度は JR 八尾で街頭キャンペーンを行なう。また同じ形でやりたいと思っているが、本当にいろんな方々にご協力いただいているものであり、市民と行政、行政の中でもいろんな課の方が入っていただいている動きなのではないかと思う。

## ○会長

- ・ お時間があれば、委員にご連絡いただいて、「ちゃりんこバスターズ」の活動にご協力いただければと思う。
- ・ このような形の様々な立場の方々への呼びかけあいが、交通まちづくり懇談会の立ち上げにつながればやりやすくなると思う。
- ・ 来年度の取組については、先程様々ご意見いただいたが、その辺りも充分考慮して、できるだけ実効性の高いものにしていきたいと思う。私も頑張らせていただくので、皆

さんのご協力よろしくお願ひしたい。

- ・ 先程ご紹介のあった「飛び込み講座」については、皆さんご所属のグループ、あるいはお友だちのグループでも、声かけを行っていただひて、できるだけ頻りにやっけて行きたいと思う。先程委員のお話では訪問した学校の4分の1から、朝礼でのスピーチ依頼があったということなので、交通対策課の方にも、講座開催の実績報告を来年度の懇談会では期待したい。

#### 4. その他

##### ○事務局

- ・ その他の事項として、今後の日程等についてご説明する。
- ・ 今後の予定として、交通基本計画について市民意見募集の実施を予定している。市のホームページあるいは出張所等で資料配布を行い、各委員、派遣団体にも配布させていただきたいと思っている。いただいたご意見を参考として最終的には3月末を目処に計画書の冊子を完成させていきたいと考えている。当然計画書ができた暁には、委員の皆様にもお渡しさせていただきたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。
- ・ 会議の最初の方に資料としてご説明させていただいたとおり、今後市の方から「交通まちづくり」に関する情報提供を受けたいとご希望の方については、お配りした用紙にお名前と連絡先をご記入いただき、ご提出をお願ひしたい。

##### ○会長

- ・ 市民意見募集が始まるが、皆さんへも案を事務局から送付させていただく。皆さんも市民のお一人であるので、読んでいただひて何か文言とか、内容的にお気付きになったことは、市民意見としてあげていただければ、十分に反映をさせていただきたいと思うのでその辺りもお願ひをしたいと思います。
- ・ そして皆様方のお友だち、そして周りの方にも是非読んでいただひて、ご意見があれば事務局の方にご連絡いただければと思うので、よろしくお願ひしたい。
- ・ それでは、これが終わりではなくて、先程から何度も申し上げておるように、これがスタートだと思う。計画を進めるにあたっては当然市の方も頑張らなくてはならないが、こと交通の問題に関しては、市民のお一人おひとりがどう考え、どう動くかということが非常に重要になってくると思う。
- ・ これまでの会議で、ブラジルの都市クリチバの事例を紹介させていただいた。私は、この八尾のまちをクリチバのような公共交通を大切にしたまちに是非ともしたいと思っている。そのためにも私もできるだけ協力をさせていただきたいと思っている。
- ・ それでは以上を持ちまして、交通基本計画検討市民委員の会議ということでは、終了とさせていただきます。また来年度には、交通まちづくり懇談会の立上げに際して、事務局

からお声がかかると思う。その節には是非ともまたお集まりいただいて、様々なご意見をお願いしたいと思っており、先程お話をさせていただいたように、今後懇談会を投げかけていくには、もっとより多くの市民の方々に参画をいただいて、いろいろな意見交換を図ってまいりたいと思う。また懇談会の方にはお顔を見せていただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

- ・ どうもありがとうございました。

#### ○委員

- ・ 交通基本計画に関して、貴重なご意見をいただきありがとうございました。単にご意見をいただいただけで終わることがないように、我々が実際にこの計画を達成するために何をすべきなのかということはこの計画の中に盛り込んでいきたい。
- ・ 市が本気なのかどうかということも問われている。我々としてはこの計画を絵に描いた餅にするのではなくて、八尾が本当に自転車の似合うまちであったり、歩行者のためのまちであったり、皆さんが出歩くのが楽しくなるようなまちが実現できるよう取組んでいきたい。
- ・ 今後様々な形でここにご参集いただいた方々には、ご尽力、ご協力を賜る機会が多々あると思う。その節は我々とともに、八尾の「交通まちづくり」をより良いものとするよう、お力を拝借したいと思うので、よろしくお願ひしたい

閉会